

記者発表資料

平成26年9月2日  
国土交通省  
鹿児島国道事務所

## ひらかわ 国道226号平川道路4車線整備 3ヶ月後の整備効果

国土交通省鹿児島国道事務所が整備しました国道226号平川道路が平成26年3月14日（金）の開通から3ヶ月が経過し、これまでの交通状況や整備効果をとりとまとめましたのでお知らせします。  
なお、今後も引き続き交通状況の把握に努めて参ります。

### 交通混雑の緩和

#### 渋滞解消

平川道路の主要交差点における慢性的な渋滞が解消(平成26年6月調査)  
平川交差点 渋滞長最大 1,250m → 0m[下り]  
産業道路南入口交差点 渋滞長最大 650m → 0m[上り]

#### 時間短縮

いぶすき  
指宿市 ↔ きいれ鹿児島市の移動時間が約5分短縮(44分→39分)  
平成26年6月調査

### 安心・安全

#### 医療支援

きいれ  
鹿児島市喜入地区から鹿児島市医師会病院までの救急搬送時間が最大6分短縮(44分→38分)搬送実績

#### 安全性向上

ひらかわちよう  
鹿児島市平川町校区における通学路の安全性が向上  
『歩道が広くなったので、児童が安全に通行できる区間が多くなった』  
平川小学校の職員より

### 《お問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所 TEL 099-216-3111 (代表)  
技術副所長 斉藤 啓嗣 (さいとう けいし)  
調査課長 上田 章紘 (うえだ あきひろ)

# 渋滞解消

ひらかわ

## 平川道路の主要交差点における慢性的な渋滞が解消

- 平川道路の4車線開通に伴い、慢性的に渋滞していた主要な交差点の渋滞が解消しました。
- 開通直後の渋滞調査に引き続き、開通後3ヶ月の渋滞調査の結果でも、開通前に発生していた『平川交差点』や『産業道路南入口交差点』での渋滞長1,250mが、平日休日ともに**継続して解消していることが確認**されました。

### 渋滞長の変化

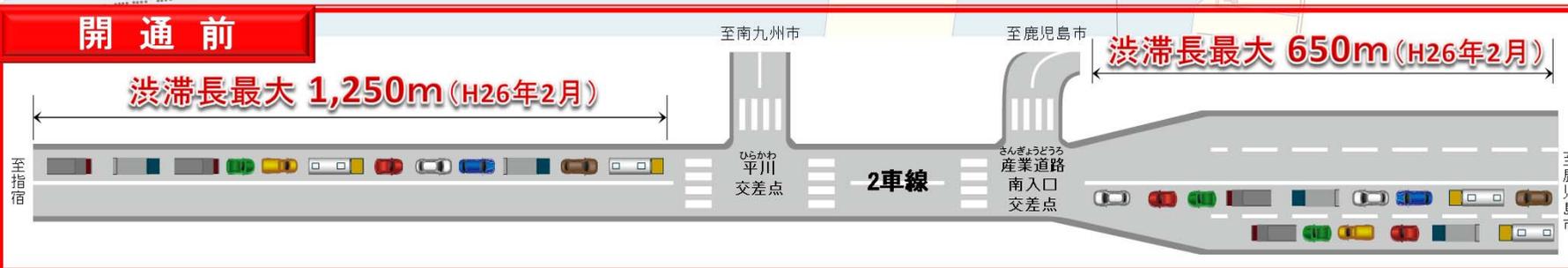


至指宿市

### 開通前

渋滞長最大 1,250m (H26年2月)

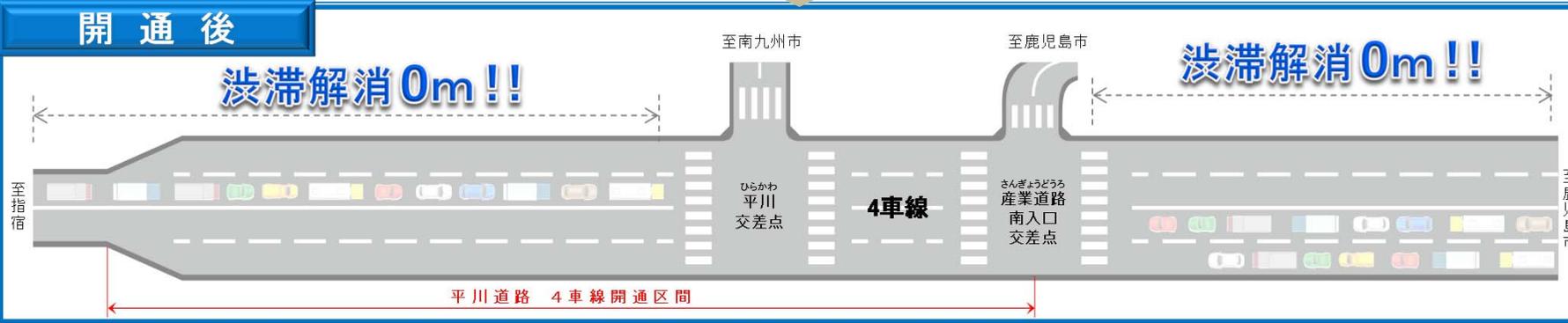
渋滞長最大 650m (H26年2月)



### 開通後

渋滞解消 0m!!

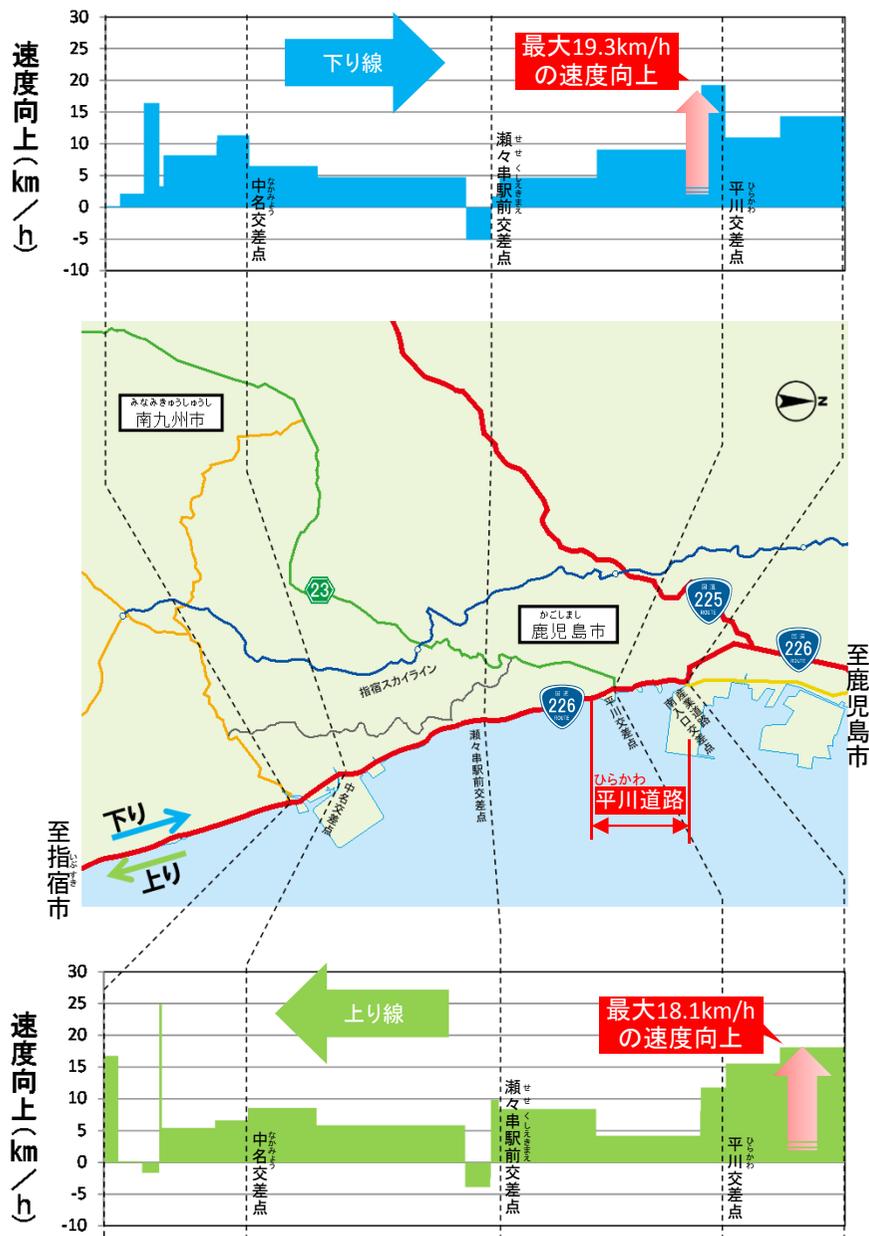
渋滞解消 0m!!



# 時間短縮

## いぶすき 指宿市 ↔ 鹿児島市の移動時間が約5分短縮

### 開通後の速度向上状況

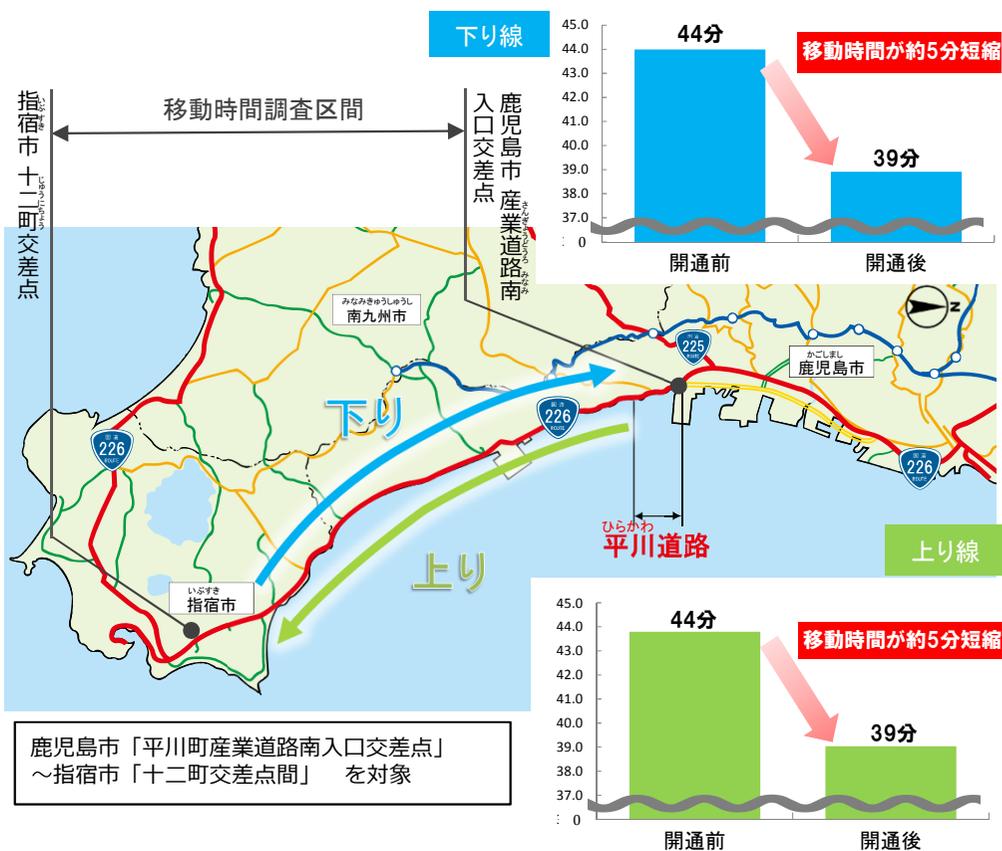


○国道226号鹿児島市平川町～喜入町間の走行速度が上がり、最大約20km/hの速度が向上しました。

(下り線、平川交差点付近にて19.3 km/hの速度向上)

○指宿市～鹿児島市間の走行速度向上に伴い、上下線共に移動時間が約5分短縮しました。

### 指宿市～鹿児島市間の移動時間変化



▲鹿児島市～指宿市間の移動時間の変化

○旅行速度調査結果

調査日：開通前 平成26年2月20日(木)、開通後 平成26年6月24日(火)

# 医療支援

## きいれ 鹿児島市喜入地区から市内への救急搬送時間が最大6分短縮

### ひらかわ 円滑な救急搬送を支援する平川道路

- 開通前は平川道路が渋滞するため、救急車通行時に路肩に車両が寄っても救急車が通行できるほどの余裕がなく、救急搬送に時間を要していました。
- 開通後は幅員が広くなり、スムーズな走行が可能になりました。



▲開通前の走行イメージ

▲開通後の走行イメージ

鹿児島市消防署職員の方  
(H26年5月 ヒアリング調査結果より)

### 喜びの声

鹿児島市喜入地区には二次救急病院がないため、鹿児島市内への搬送が必要となります。

渋滞が発生している時間帯には追い越し禁止車線を跨ぎながらの蛇行搬送となり、タイムロスや傷病者へのストレスに繋がるなどの課題がありました。

開通後、円滑な救急搬送が可能となり、傷病者へのストレスも軽減していると感じています。



鹿児島市消防署職員の方  
(H26年5月 ヒアリング調査結果より)

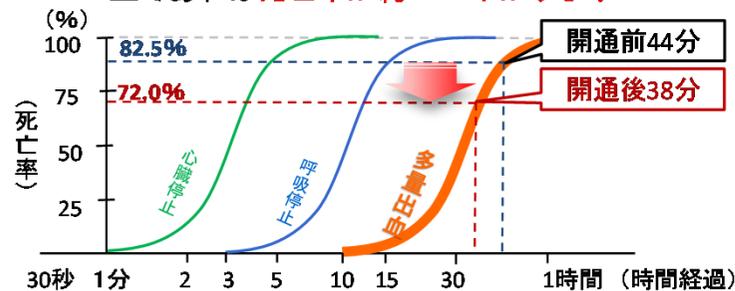
### きいれ 喜入地区から医療施設への救急搬送時間が短縮

- 平川道路の渋滞が解消し、喜入地区から二次救急医療施設※である鹿児島市医師会病院への救急搬送時間が最大6分短縮し円滑な救急医療活動を支援しています。



▲救急搬送ルート(喜入地区～鹿児島市医師会病院間)

救急搬送時間が最大6分短縮することで、多量出血であれば死亡率が約11%下がります



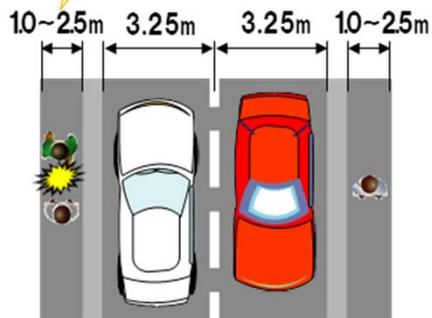
▲カラーの救命救急曲線と搬送時間短縮効果

# 安全性向上

## ひらかわちょう 鹿児島市平川町校区における通学路の安全性が向上

ひらかわちょう  
鹿児島市平川町校区は歩道の安全性向上が課題

歩道幅員が狭く、歩道でのすれ違いが困難



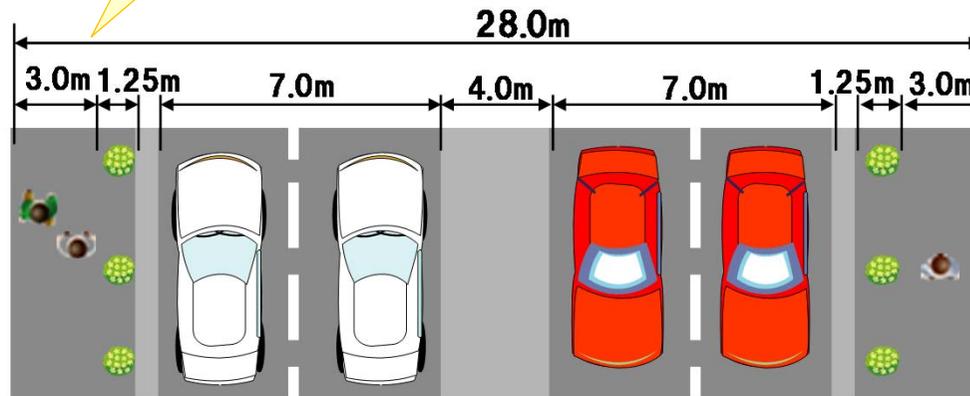
小学校の児童は狭い歩道を歩いて通学、一部の区間では通学路の指定がされてない



開通後

歩道の幅が広くなり安全性が向上

歩道の幅が広くなり歩行者の安全性・快適性が確保されました。



開通後

国道の歩道が通学路に指定

○開通後、国道の歩道が通学路として新たに指定されました。



開通後



喜びの声

歩道が広くなったので、児童が安全に通行できる区間が多くなった。

平川小学校  
職員の方



(H26年5月 ヒアリング調査結果より)